

平成29年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 観光資源の活用促進
-----	-------------

施策主管課	観光交流課	総合計画記載頁	134ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	20 魅力ある観光と交流を創出する	政策の達成目標 (基本施策目標)	新たな資源が発掘、活用され本市の観光資源の価値がさらに高まり、市民も自らの地域に誇りを持つことで、多くの人に宇都宮を訪れ楽しんでもらえるような、魅力ある観光と交流が創出されています。
------	----------------------------------	----------------	-------------------	---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

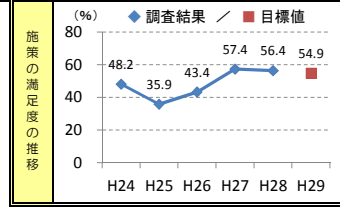
2 施策の取組状況

施策目標	人、産業、文化・スポーツなど、本市の優れた資源が観光に生かされ、本市の魅力が高まっています。
------	------------------------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果 指標3	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	年間入込客数(千人)	単年度目標値	13,761	13,995	14,250	14,500	14,750			15,000	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	48.2%	35.9%	43.4%	
現状値		実績値	13,531	13,145	13,752	14,170	14,701	14,830	目標値(H29)	54.9%	前年度からの増減			-12.3pt	7.5pt	14.0pt	-1.0pt		
目標値(H29)		単年度の達成度	15,000	95.5%	98.3%	99.4%	101.4%	100.5%	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B									
指標2	単年度目標値	実績値							B	【参考】中核市等との水準比較	観光客入込客数/市民1人	中核市平均	16.3	15.4	15.9	16.0	16.0	B	
	現状値	実績値						実績値			26.3	24.7	25.5	26.5	27.3				
	目標値(H29)	単年度の達成度						中核市での本市の順位			4位/41市中	6位/41市中	4位/45市中	4位/45市中	4位/41市中				
指標3	単年度目標値	実績値							B	【参考】中核市等との水準比較	観光客入込客数/市民1人	中核市平均							B
	現状値	実績値						実績値											
	目標値(H29)	単年度の達成度						中核市での本市の順位											

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 進増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	実績値 / 目標値 × 100 (%)
★ 進減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	目標値 / 実績値 × 100 (%)



※ 評価の考え方	① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
	② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上(±5pt超) [33点]	B: 前年度同水準(±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下(±5pt超) [15点]
	③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上(主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり(主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ(主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]	

施策を取り巻く環境等	・平成29年に閣議決定された観光立国推進基本計画においては、近年増加傾向にある訪日外国人旅行者に対応するためのインバウンド事業の拡充や国内外の多様なニーズに応えるため、地域内の多様な関係者と連携しながらネットワークを構築し、地域の特性や資源を活用したテーマ別観光・ニューツーリズムの推進などにより、国際競争力の高い魅力ある観光地域の形成が必要とされている。 ・栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査によると、県への観光客入込数は平成23年に震災の影響で大きく減少したが回復傾向にあり、平成28年は約9,092万人と過去最多を更新した。	市民満足度	・地域資源を活用したイベントや国際大会など集客力のある事業の開催等により、市民に本市の観光資源の魅力を周知したことで、前年に引き続き目標値を達成できた。	総合評価	83点
施策指標	・平成28年の宇都宮市観光動態調査において、年間入込客数は過去最高を記録し目標を達成した。これは、「餃子」「ジャズ」「カクテル」「大谷」などのほか、文化、スポーツなどの観光資源を活用したイベントの開催や観光宣伝事業等に「官民一体」となって積極的に取り組んできたことによるものである。			概ね順調	

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H28事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	広域観光宣伝事業(負担金)	★	・広域観光事業の推進	・栃木県観光物産協会 ・栃木県国際観光推進協議会 ・本物の出会い栃木観光推進協議会 ・関東観光広域連携事業推進協議会	各団体における広域的な連携による観光資源開発や宣伝PR事業に要する経費の一部を負担	計画どおり	1,153	H18		広域観光事業を推進するため、県や各市町等で構成する関係団体の事業に負担金を交付し、国内外での観光キャラバンや商談会・旅行博への参加、外国からの旅行エージェントの招聘など、広域的に連携した観光誘客促進を図る。
2	MotoGP活用事業(交付金)		・広域観光事業の推進	MotoGPイベント実行委員会	・MotoGPイベントの開催 ・MotoGPを活用したPR	計画どおり	459	H24		広域観光事業を推進するため、MotoGPイベント実行委員会に交付金を交付し、世界各国から選手や観客が来場する「MotoGP世界選手権シリーズ(ツインリンクもてぎ開催)」を活用し、本市知名度の向上や誘客促進に係る事業を実施する。
3	観光宣伝事業		・多様な手段による観光情報の発信	首都圏等在住者	・観光宣伝用ポスター作製、掲出 ・観光パンフレット(るるぶ宇都宮)作製、配布 ほか	計画どおり	8,284	S59		本市の観光情報を広域的に発信し、誘客促進やイメージアップを図るため、「るるぶ宇都宮」の配布や旅行雑誌への掲載、鉄道事業者へのポスター掲出など、本市の観光資源を活用した効果的な宣伝活動を展開する。
4	フェスタin大谷実行委員会事業(交付金)	○★	・大谷観光の推進	フェスタin大谷実行委員会	・フェスタin大谷の開催に係る費用の一部を交付	計画どおり	3,000	H13		大谷観光の推進のため、フェスタin大谷実行委員会に交付金を交付し、イベントの開催を通じ、官民一体となり「石の里・大谷」を県内外に向けて広くPRすることで誘客促進を図り、大谷地域の活性化と本市の観光振興を推進する。
5	大谷・多気地区美観事業		・大谷観光の推進	城山地区総合開発推進協議会	大谷地区、多気地区の美観維持に係る費用(岩肌をつた、雑草除去及び奇岩景観の保全)の一部を補助	計画どおり	1,200	H15		大谷・多気地区の美観を維持するため、同地域において景観形成事業を実施する城山地区総合開発推進協議会を支援し、大谷石の岩肌などを活かした魅力ある景観を創造することで、本市の知名度向上と大谷観光の推進を図る。
6	ふるさと宮まつり開催委員会事業補助金		・地域資源の活用促進	ふるさと宮まつり開催委員会	・宮まつりの開催に係る費用の一部を補助	計画どおり	11,100	S51		ふるさと宮まつり開催委員会に補助金を交付し、事業の開催を通じた地域の活性化や、本市の知名度向上および観光振興を図る。
7	うつのみや花火大会実行委員会補助金		・地域資源の活用促進	特定非営利活動団体 うつのみや百年花火	・うつのみや花火大会の開催に係る費用の一部を補助	計画どおり	2,500	H19		うつのみや花火大会実行委員会に補助金を交付し、事業の開催を通じた地域の活性化や、本市の知名度向上および観光振興を図る。
8	大谷特性活用支援事業補助金(産業政策課)		・地域資源の活用促進	市内に事務所又は事業拠点を有する法人、LLP	大谷地域の貴重な地域資源を活用した新たな地域産業等の創出に向けた取組に係る経費の一部を補助	計画どおり	0	H23		大谷地域の一層の活性化に向け、大谷地域の特性や貴重な地域資源の有効活用の促進や、新たな地域産業の創出等に資する調査研究活動も支援対象とするなど、支援の拡充を図っていく。
9	二次交通観光活用事業		・地域資源の活用促進	本市来訪者	バス乗車券に観光施設入場券等を付帯した企画乗車券を販売	計画どおり	0	H26		市内周遊を促進するため、バス事業者や観光関係団体などの連携による二次交通の取組を支援するとともに、拠点観光施設間におけるシャトルバスの試験的運行を実施するなど、観光拠点を巡る新たな周遊策について検討する。
10	ジャパンカップサイクルロードレースの開催	○★	トップレベルのスポーツに触れる機会の創出及び誘客の促進	ジャパンカップサイクルロードレース実行委員会	ジャパンカップサイクルロードレースの開催に係る費用の一部を交付	計画どおり	138,750	H4	トップクラス	「自転車のまち うつのみや」のPR、地域経済の活性化、サイクリススポーツの振興、スポーツを通じた国際交流の推進、本市の観光振興及び誘客の促進のため、「ジャパンカップサイクルロードレース実行委員会」を通じて、世界トップレベル選手の招聘や観戦環境の向上等、アジア最高位の自転車ロードレースにふさわしい大会を開催していく。
11	プロスポーツチームへの支援・連携	○★	・プロスポーツチームへの支援と連携	・本市を拠点に活動する3プロスポーツチーム ・市民 ・本市来訪者	・公式戦や練習等に関する活動環境の支援やファン層拡大のための広報支援の実施 ・ホームゲーム開催に合わせた本市PRイベント「うつのみや愉快デー」の実施	計画どおり	140	H18		プロスポーツチームの活動が、経済的効果や教育的効果を地域にもたらすなど、市政に貢献していることから、引き続きファン層拡大のための広報支援等を行うとともに、交流人口の拡大と地域経済の活性化の地域資源として、連携、活用していく。
12	オリンピック等キャンプ地誘致	○★	・コンベンション等の誘致強化	・各国競技団体 ・国際スポーツイベント主催者	・国際的なスポーツイベントの開催時における乗客・交流促進に向けた企画及びPR	計画どおり	285	H26		オリンピックや国際大会などの大規模スポーツイベントのキャンプ地誘致が実現した場合には、選手やスタッフをはじめ、報道関係者など、大会関係者の活動拠点となり、本市の魅力が広く発信できるとともに、「スポーツへの興味・関心」の高まり、外国人選手等との触れ合いによる「スポーツを通じた国際交流の促進」など、効果が期待できることから、県や競技団体などの関係組織と連携、協力しながら取り組んでいく。
13	宇都宮シクロクロスシリーズの開催(交付金)		トップレベルのスポーツに触れる機会の創出及び誘客の促進	宇都宮サイクルスポーツ推進委員会	シクロクロスの開催に係る費用の一部を交付	計画どおり	10,500	H27		自転車のオフロードレースであるシクロクロスの市内外への認知度向上や市民への定着浸透、「自転車のまち うつのみや」のPR、地域経済の活性化、ロードレースに続く新たなサイクリススポーツの振興、本市の観光振興及び誘客の促進のため、「宇都宮サイクルスポーツ推進委員会」を通じて、宇都宮シクロクロスシリーズを開催していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆観光スタイルの変化に伴う観光ニーズの多様化や、アジアを中心としたインバウンドの増加、北陸新幹線・北海道新幹線の開通等による旅行圏域の拡大など、環境の変化に対応した観光事業の展開が必要である。 ◆本市を代表する「餃子」や「石の里」大谷などの既存の観光資源に、本市の歴史や文化・産業・スポーツ・農業等の観光資源を組み合わせたニューツーリズムの取組が必要である。 ◆大谷地域の特性や貴重な地域資源を有効活用した取組を実施するなど、本市の新たな魅力を創出する必要がある。 ◆本市の多彩な観光資源を活用した着地型観光の充実や周遊ルートの開発、さらには、海外プロモーションをはじめとする広域連携事業の実施などにより、外国人旅行者の旅行形態やニーズに合わせた魅力ある観光を提供し、インバウンドを獲得していく必要がある。 	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成29年度に改訂される観光振興プランにおいて、餃子や大谷をはじめとした観光資源の活用促進や体験型・産業観光の推進、グリーンツーリズムをはじめとするニューツーリズムの促進、広域連携による周遊ルート開発などを盛り込み、具体的な事業展開に向け取り組む。 ◆自転車をはじめとするスポーツや大谷など、魅力ある地域資源を活かした観光誘客に資する新たな取組について、民間事業者との連携しながら実施する。 <p>〈主要事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆フェスタin大谷 実行委員会と協力して、大谷地域への誘客促進・地域の活性化に繋がるイベントを引き続き開催する。 ◆ジャパンカップサイクルロードレース レースの充実に加え、本市の観光資源と組み合わせたツアーの実施などにより、さらなる誘客促進を図る。 ◆プロスポーツチームへの支援・連携 交流人口の拡大と地域経済の活性化の地域資源として引き続き連携・活用する。 ◆オリンピック等キャンプ地誘致 誘致をきっかけとしたスポーツへの興味・関心の高まりや国際交流の促進を図る。 <p>〈その他個別事業〉</p>